



<団員名簿・出演者名簿>

< Sop. >			
(阿部千歌子)	田中育子	<合唱団じゃがいも>	
大岡智子	中村静子	鈴木裕美	美節
太田和理恵	藤井明詩	牧野智恵	恵子
小笠原理恵	<岩大合唱団>		
小野寺美和子	金成佳枝	森谷智昭	子
(佐々木綾裕子)	田口真澄	青木昭子	
佐々木裕子	高橋紗綾		
竹田恭子			
< Alt. >			
石川晶子	佐々木紀子	<合唱団じゃがいも>	
尾形和恵	外館光代	森谷富美子	瞳
鎌澤光子	<岩大合唱団>		
川村尚喜	伊藤結香	森谷美紀	子
	岩渕絵里	塚本万紀	子
		藤美恵	
< Ten. >			
門脇次郎	中野攻	<合唱団じゃがいも>	
熊谷晃勝	<岩大合唱団>		
佐々木康達	石村一之	鈴木哲俊	雄明
千葉達也	勝部健作	石川有作	
< Bas. >			
(大工道夫)	日野輝夫	<合唱団じゃがいも>	
桜藤和喜	(宮田昭)	森谷文一	聡
佐井英彌	米内滋	東海林充	男
千藤誠	<岩大合唱団>		
照葉司	小野寺世	岡崎江	泰
井隆一	平野亘	藤江	

ふるさと	指揮 山田靖了	ピアニスト 松 館 慧
岩手の山と川と風と	あんべ光俊 作詞作曲	太田代政男 編曲
イーハトーヴの風	菊地規 作詞/安藤睦夫 作曲	坪能克裕 編曲
北上夜曲	石田紘子 作詞/佐藤洗 作曲	林芳輝 編曲
中津川アルバム	新井満 作曲/大田桜子 編曲	石川啄木 詩
ふるさとの山に向ひて	時代を越えて	
混声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」	信長真富 編曲	
あの町この町	野口雨情 作詞	中山晋平 作曲
宵待草	竹久夢二 作詞/多忠亮 作曲	吉井勇 作曲
ゴンドラの歌	中山晋平 作曲	野口雨情 作詞
青い眼の人形	本居長世 作曲	古賀政男 作詞作曲
影を慕いて	島村抱月、相馬御風 作詞	中山晋平 作曲
カチューシャの唄	みんなで歌いましょう!	

賢治の世界へ・・・

宮沢賢治の詩によるソング・アルバム
 「岩手軽便鉄道の一月」より
 宮沢賢治の詩による混声合唱曲集
 「無声慟哭」他より 林 光 編・作曲

鳥のように栗鼠のように
 北上川は熒気をながし
 冬と銀河ステーション
 わたくしという現象は
 グランド電柱
 岩手軽便鉄道の一月
 星めぐりの歌

ヴァイオリン	山口あうい
クラリネット	山安藤満里
指揮	山田 靖 了
ピアノ	松 館 慧
賛助	合唱団じゃがいも(山形市)有志
	岩手大学合唱団有志

常任指揮者	山松 田 靖 了
ピアニスト	佐藤 館 洗 攻
会長	中野 藤 野 喜
委員	工藤 中 野 和
副委員長	太田 工 藤 喜
	外 中 野 光
会計	佐々木 村 子
パートリーダー	川 千 裕
	尾 千 誠
	尾 千 誠
実行委員長	尾 千 誠
ステージマネージャー	尾 千 誠

<主な活動> 2010年 平成22年

- 1/7(木) 歌い初め、新年会
- 4/29(木) 花見会、歓迎会、叙勲お祝い、古希お祝い
- 5/23(日) 第39回盛岡芸術祭(市民文化ホール)
- 5/27(木) 坂本かおる先生レッスン
- 7/16(金) 第44回定期演奏会(盛岡市民文化ホール)
- 8/5(木) 総会
- 10/2(土) 「佐藤洗 抒情歌うたう会」後援
- 11/14(土) 「松田晃・松田順子合唱指揮105演奏会練習」賛助出演
- 12/7(日) 岩手芸術祭合唱祭出演(岩手県民会館)

ご挨拶

委員長 中野 攻

今宵は第44回定期演奏会において頂き有り難うございます。

最初に皆様にお知らせすることがあります。それは、会場の皆さんでご存じの方もおられると思いますが、尾形利夫さんが昨年11月14日に永眠したことです。NHK盛岡放送合唱団を解散して「北声会合唱団」として再出発する時、常任指揮者千葉道先生と一緒に初代委員長（代表者）として規約の制定を初めとする基盤を作った創始者の一人であり、また、私の前任の第5代委員長時代は、崩壊寸前の「混声合唱団北声会」を、常任指揮者として山田靖了先生を迎えることで切り抜け、2度の北政演奏旅行を成し遂げた功労者で、常に合唱と「北声会」をよく愛し、合唱団の中心的存在でありました。心から哀悼の誠を捧げたいと思います。

さて、今回も昨年に続いて宮沢賢治を歌いますが、作曲家林光氏の直接の指導を受けている山形市の「合唱団じゃがいも」の賛助を得、また、昨年に続いてクラリネットを安藤満里さんに、そして、今年初めてヴァイオリンの山口あういさんを迎え、岩手大学の学生さんには今年も若々しく力強いエネルギーを頂いて、昨年とはひと味違った、昨年には表現できなかった「賢治の世界」を披露できるのではないかと思います。

第1ステージでは岩手の自然（風と川と山）を歌います。「イーハトーヴの風」のメロディは、盛岡劇場の近くに住んでいる方なら時報代わりに、劇場から鳴っているの耳にしているはずですが、岩手県合唱連盟理事長の太田代政氏の編曲でお届けします。「北上夜曲」はどなたもご存じの歌、「中津川アルバム」は「盛岡の歌」入道作で、当合唱団員佐藤流の作曲です。最後の「ふるさとの山に向けて」は石川啄木の短歌ですから、一度は口ずさんだことがあると思います。

第2ステージは昨年召した方々には懐かしい曲です。信長高富氏の編曲で、ちょっと違った歌に聞こえるかもしれませんが、目をつぶって昔を思い出しながらお聴き下さい。

「みんなで歌いましょう」は我が合唱団の定期演奏会の定番になっていますが、盛岡市民文化ホールの大ホールで歌うことは、合唱団にでも入っていないとなかなか経験できないはずですので、ぜひステージに上がって大きな声で歌って下さい。皆さんのよく知っている歌なので心配ありません。今年は、ステージに上った人だけで歌って頂く企画もあります。それでは最後までごゆっくりお楽しみ下さい。ご批評をお待ちしています。

イーハトーヴへの旅

常任指揮者 山田 靖了

第44回定期演奏会にお越しいただいた皆様にご厚くお礼申し上げます。

今多くの合唱団が高齢化と減少化の悩みを抱えており、私共もその渦中になんわりではありません。しかし、新たに小野寺さん、大関さん、小笠原さん、桜井さん、佐々木さん、千葉さん、そしてピアニストの松館さんと、若々しいメンバーを迎え、さらなる充実感を味わっています。ご来場の皆様、どうぞ今後とも気兼ねなく当合唱団を宜しくお願いします。

さて、今回も宮沢賢治・林光の作品に取り組みました。「鳥のように栗鼠のように」は、林トシの死を悼む深い悲しみを、ア・カペラ（無伴奏）でしっとりと描き、「北上川は炎気を流し行」は「かわせみ」を主人公に、男声と女声との対話、ト書き風の合唱、都々逸風のピアノを交えるなど、面白い曲になっています。「冬と銀河ステーション」は「銀河軽便鉄道」の車窓から垣間見る、土沢（現花巻市東和町土沢）の「市日」が楽しく賑やかに歌い出されますし、ピアノも華やかです。そして、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノ、合唱のコラボレーションで、「わたくしという現象は」と昨年演奏した「果めぐりの歌」など3曲を演奏します。県内外で大活躍の山口あういさん、安藤満里さんをお迎えし、一層の光彩を添えていただき、幻想的な「賢治ワールド」になりそうです。これらの珠玉から、作曲家林光の賢治に寄せる「大きな想い」を感じます。この「想い」を語む「イーハトーヴの音の世界」に少しでも近づきたいものです。特に今年は岩手大学合唱団（有志）、林光作品の委嘱・初演でその名を知られる「合唱団じゃがいも」（山形市）の皆さんとも共演が実現しました。合唱の輪が大きく広がり交感を深めながら歌う喜びと楽しさを増すことになりました。

演奏会にあたり、お力添えを頂いた岩手大学の佐々木正利先生、「じゃがいも」の鈴木義孝先生、編曲の滝沢三郎先生、御坂教会の村上牧師さんご夫妻を初めとして、ご支援をいただいた多くの方々により感謝とお礼を申し上げます。勿論難しい「賢治」作品に取り組んでくれた団員の皆さんにも拍手を送り感謝します。

終わりに悲しいことを記さねばなりません。「北声会」の創立から今日までの活動を牽引して下さった尾形利夫さんが遠くへ旅立たれました。個人的にも大変お世話になり、悔しく黒念でもあります。心からご冥福をお祈りし、今宵の演奏を捧げたいと思います。

ヴァイオリン 山口 あうい



京都府出身。愛知県立芸術大学卒業。桑原賞受賞。同大学院音楽研究科修了。日本室内楽アカデミーオーディション合格。ウイーン国立音楽大学に留学。都留音楽祭セミナーにてバロックヴァイオリンを受講。劇内ハルキ、亀田美佐子、故・阿部晴、田沼洋子、澤和樹、進藤義武、故・ワラント・サモシル、渡邊慶子、バロックアンサンブルを岡田龍之介の各氏に師事。現在、音楽合奏団パティオに所属。ヴァイオリン教室を主宰。

クラリネット 安藤 満里



仙北市角館町に生まれる。6歳よりピアノを始め、中学1年の時吹奏楽部に入部、クラリネットに出会う。秋田県立横手高等学校卒業、国立音楽大学器楽科クラリネット専攻に進学、卒業後、桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究生として1年間学び帰郷。現在自宅にて音楽教室を主宰しながら、演奏活動。北東北を中心に吹奏楽指導を行っている。秋田大学非常勤講師、おんぶの会会員、秋田県音楽療法研究会会員。

常任指揮者 山田 靖了



指揮者、岩手大学附属中学校非常勤講師、20世紀の合唱を考える会・合唱集団「音楽樹」会員。

ピアニスト 松館 慧



岩手県立宮古高等学校卒業。これまでピアノを、川崎球美、和田光弥子、重野和彦氏に師事。現在岩手大学教育学部4年在学中。

トルロ人形



ステージの左の袖にいる気味の悪い人形。定演の時だけ、ノルウェーの森からやってくる我が合唱団の守神。というのは嘘で、2002年に北政演奏旅行の時に共演したノルウェーの合唱団からの贈り物である。トルロはノルウェーの森の自然の精で、体は樹木で覆われて、まるで小山が背いているような大男。色々なおとぎ話に登場するトルロは頭が三つある者など様々だが、共通するのは醜い顔と尻尾を持っていることである。

合唱団じゃがいも

常任指揮者 鈴木 義孝

“合唱団じゃがいも”は、1974年から山形市を拠点に活動している混声合唱団です。

毎年の定期演奏会と文翔館コンサートでは、邦人作曲家による合唱作品を中心に演奏するとともに、シアターピース（劇場用作品）やポップスまで、常に新しい分野に意欲的に取り組んでいます。定期演奏会では、作曲家の林光、萩京子、吉川和夫、演出家の加藤直、山元清多の各氏を招き、宮沢賢治の作品をオリジナルの合唱劇として委嘱し初演するという、合唱界では斬新な創作活動もおこなっています。2007年からは東京と仙台でも公演し好評を得ています。また、家族みんなで歌うということも大切にして活動しています。

賢治の故郷で賢治作品を北声会の皆さんと一緒に歌えることを楽しみにしています。

これまで初演した主な宮沢賢治作品。

林光作曲：「かしわばやしの夜」、「狼森と狼森、盗森」、「鹿踊のはじまり」、「賢かった三人」、「革トランク、東京の賢治」、「ゼロ弾きのゴージュ」、「無声慟哭」、「冬と銀河ステーション」、「北上川は炎気をながし」、「わたくしという現象は」。

萩京子作曲：「よだかの星」、「黄色のトマト」、「猫の事務所」、「どんぐりと山猫」、「注文の多い料理店」。

吉川和夫作曲：「炭十公園林」、「雪降り」、「ポラーノの広場」、「銀河鉄道の夜」、「やまなし」。



第39回 盛岡芸術祭 合唱部門公演

2010年5月23日 盛岡市民文化ホール 大ホール



混声合唱団 北声会 第44回定期演奏会

2010年7月16日 盛岡市民文化ホール 大ホール

ふるさと
「岩手の山と川と風と」



混声合唱団 北声会 第44回定期演奏会

2010年7月16日 盛岡市民文化ホール 大ホール

「みんなで歌いましょう」



混声合唱団 北声会 第44回定期演奏会

2010年7月16日 盛岡市民文化ホール 大ホール

宮沢賢治の詩によるソング・アルバム「岩手軽便鉄道の一月」より
 宮沢賢治の詩による混声合唱曲集「無声慟哭」他 より

ヴァイオリン 山口 あうい
 クラリネット 安藤 満里
 指揮 山田 靖
 ピアノ 松館 慧
 賛助 合唱団じゃがいも(山形市)有志
 岩手大学合唱団有志



松田 晃・松田順子
 合唱指揮105年記念演奏会

合同演奏 / 女声合唱組曲「マリアの歌」(作詞:村上博子 作曲:高田三郎) 指揮:松田順子 ピアノ:小笠原直子
 混声合唱組曲「氷のいのち」(作詞:廣野要久雄 作曲:高田三郎) 指揮:松田 晃 ピアノ:早石 暉
 招待演奏: とうとう女声合唱団(青森市) F.M.C.混声合唱団(福島市) 多摩リブリエール(東京都) 演習歌一(大陽市)
 友情出演: ローゼンコール(盛岡市) 混声合唱団北声会(盛岡市) 男声合唱団コール村(盛岡市) 2010年11月14日 於 / 青年棋長会館大ホール
 出演: 盛岡コミット混声合唱団(盛岡市) 混声会(盛岡市) 女声合唱団北野(花巻市) 北上+コーラスせせらぎ(北上市) 花巻ユネスコ・パ・セルクル(花巻市) 高一女DG合唱団(秋田県) photo / スタッフ・ナイス



2-12

第63回 岩手芸術祭合唱祭 2010年12月12日 岩手県民会館大ホール